

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名:『肝細胞癌症例に対するレンバチニブ投与の骨格筋および心機能に与える影響』

研究機関名: 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者: 消化器内科

職位・氏名: 臨床教授 永井英成

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院消化器内科では、肝細胞癌症例に対するレンバチニブ投与の骨格筋および心機能に与える影響について明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後の同治療に対する予防対策およびQOL向上に繋がります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2018年4月～2021年3月までに東邦大学医療センター大森病院消化器内科において、切除不能な肝細胞癌に対してレンバチニブ投与により治療を受けられた方

方法: 診療録(カルテ)から抽出されたデータの解析および血清保存におけるカルニチン濃度の測定を行います。

【研究に用いられる試料・情報】

試料: 保存血清

情報: 病歴、診療の治療歴、CT画像からの骨格筋量の測定および心機能検査データ

【外部への試料・情報の提供】

外部への情報提供はありません。

【研究組織】

代表施設名: 消化器内科

研究代表医師: 永井英成

役職: 臨床教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

職位・氏名 助教 松井哲平

電話 03-3762-4151 内線 6520